

Q.どこに相談したらいいですか？

A. バリアフリー支援室コーディネーターが応じています。

Q.誰が相談できますか？

A. 学生本人のほか、ご家族や授業を担当されている先生方からのご相談もお受けしています。

バリアフリー支援室

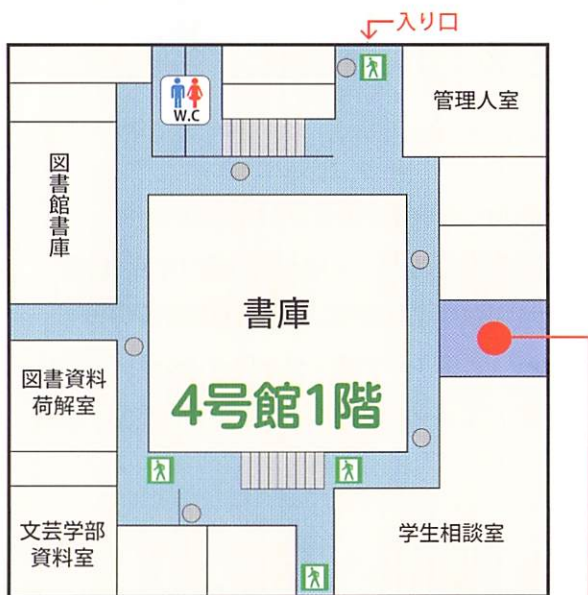
4号館1階

開室日／月～金曜日

開室時間／9:00～16:30

TEL 03-3482-5984 (内線)725

E-Mail bfree@seiyo.jp



バリアフリー支援室

大学MAP



バリアフリー支援室は、4号館1階にございます。

バリアフリーサポーター募集中

バリアフリーサポーターとは支援対象学生の授業におけるサポートを行う学生のことです。経験は不問です。授業の空き時間にぜひご協力ください。

- ◆サポート内容
学内移動の補助、授業中の身体介助、ノートテイク等
- ◆有償の支援活動です。
- ◆興味のある方は、お気軽にバリアフリー支援室までお越しください。



誰もが学びやすい
バリアのない
キャンパスを目指して



成城大学 バリアフリー委員会

成城大学のバリアフリーへの取り組み

成城大学では、誰もが学びやすい修学環境の整備を目指してバリアフリー委員会が設置されています。

成城大学バリアフリー委員会は、「成城大学バリアフリー支援に関する基本方針」に沿って、成城大学で学ぶ障がいのある学生が、主体的に学ぶために必要な修学支援を検討し、実施しています。

バリアフリー支援のための組織

バリアフリー委員会は、規則や方針、予算の決定に加えバリアフリー支援対象学生の認定を行います。

バリアフリー実施委員会は、各学部から選出されたバリアフリー実施委員が支援内容の検討を行います。

支援対象学生の相談は、バリアフリー支援室のコーディネーターが受付けます。学生の状況と希望を聞き取りし、支援内容(配慮願い)を検討しバリアフリー実施委員会に提案します。検討し決定した支援内容は、支援対象学生に関わる教員および担当部署間で共有されます。また、部署をまたがってチームを作り、協力して支援を行います。

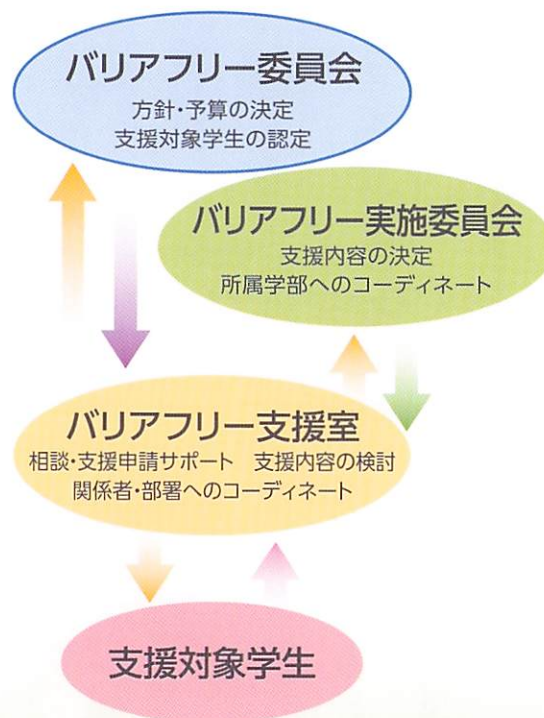
成城大学バリアフリー支援に関する基本方針

基本理念

成城学園の創立者である澤柳政太郎は、人それぞれの備えている内在的な「天分」を伸ばし、個性の花を開かせることを教育の理想としました。成城大学では、障がいのある学生にもそうでない学生にも同様に、教育理念に照らした個性尊重の学びの機会が得られるよう、支援を行うことを目指していきます。

「成城大学バリアフリー支援に関する基本方針」の全文は、大学ホームページに掲載されています。

<http://www.seijo.ac.jp/students/campus-life/barrier-free/policy/index.html>



Q.どのような人が利用できますか?

A. 本人及び保証人が支援申請をおこない、バリアフリー委員会がその必要性を認めた本学学生です。学生の抱える困難は障がいの部位や程度等個人差があります。

たとえば…

- 車椅子を使用しており、教室移動が大変だ
- 発達障がいがあり、スケジュール管理がうまくいかず、学生生活に支障が出ている。授業を聴きながらノートをとるなど同時にふたつのことをするのができず、困っている
- 脳梗塞の後遺症で文字を読み進めるのに時間がかかり、板書が間に合わない

Q.どのような支援をしてもらえますか?

A. それぞれのニーズに沿った支援を行います。

- 施設・設備の改善に向けた働きかけ
- 授業担当教員への配慮事項の相談・伝達
- 定期試験の時間延長、別室受験等の調整
- バリアフリーサポーターによる移動支援
- スケジュール管理についての対処法の提案

などなど…

